



県内主要産業の動向

2016年9・10月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	16年8月	16年9月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は依然低調。業務用では、低迷が続くレストラン・ホテル向けに加え、売場面積縮小などにより百貨店向けも不振。そうした中、10月初旬に燕三条地域で開催された第4回「工場の祭典」では、例年以上に県外からの客足が伸びたことから、全国的な「燕ブランド」浸透が期待される。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は全体としては低調。ホテル・レストラン向けが依然弱い。足下では、燕三条地域や東京で開催した展示即売会の販売実績が上がるなど、消費者向けに動きがみられる。そうした中、産地の企業からは、主に若い世代対象の中途採用による人材確保に苦慮しているとの切実な声が聞かれた。
作業工具	◐	◐	→	国内向け販売は秋口の需要期を迎え、堅調な建築関連工具中心に復調。しかしホームセンター向けは一部製品が好調ながら、依然弱含み。輸出は東南アジア向けを中心した需要の落ち込みから減少傾向。価格改定で相応の利益は確保できるが、輸出数量は当面低調に推移する見込。
電子部品 ・デバイス	●	●	↗	受注はまだら模様。鉱工業指数で生産・出荷とも依然前年割れが続くなど、全体の受注水準はなお低い。そうした中、電子部品ではスマートフォンの新機種発売に伴い、一部受注環境に改善の動き。また、国内市場の停滞を受け、受注開拓のため、海外への進出を図る企業も。
鋳物	●	●	→	受注は依然として低調。工作機械需要の低迷から、工作機械関連では大型向け・小型向けとも不振が続く。また、自動車向けも弱含んで推移。夏場以降、受注が一段と落ち込んでいるとの声も聞かれた。産地では、受注残が目減りする企業が増えるなど、先行き見通しも厳しさが増す。
金型	◐	◐	→	受注は横ばい。各社まちまちながら、県央産地では前月並みの受注を維持。大手自動車メーカー関連の受注を伸ばす企業も。一方、これから本格化する暖房機関連の受注は立ち上がり鋭い。そうした中、引き合いはあるが、価格面で折り合わず、成約に至らないケースも増えている。
一般機械	◐	◐	↘	スマートフォン関連では需要増に繋がる好材料が乏しい。建設・プラント関連では一部中国で需要に底打ちの気配。自動車関連では北米市場を主体に好転の兆し。航空機関連は堅調を維持。国内全般では、前年が活発だった設備投資支援の政府補助金（ものづくり補助金）の反動減が色濃い。先行きに対しては、厳しい見方が広がっている。



業種	景況			コメント
	16年8月	16年9月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地では、受注量は前年割れ。展示会等イベントの数は前年並みであるものの、集客状況は前年割れで厳しい状況。需要低迷を背景とした白生地等のメーカーでの生産調整から、資材価格は依然として高止まり。五泉産地では、前月に引き続き生産額・数量とも前年を上回り、2年前の水準を維持。
合織織物	●	●	→	県内産地では例年なら春物受注期だが端境期の状況が続く。足下は春物受注期入りしたが、栃尾産地では前年を下回る水準。一方、見附産地では各社まだら模様ながら、受注水準は前年を若干上回って推移。両産地とも先行きは、店頭での売れ行き不振からアパレルが発注姿勢慎重で、不透明感が強い。
ニット	●	●	→	秋冬物最終生産期。天候不順によって発注が遅れたため、例年より2カ月終期がずれ込んだ。生産量は前年を下回る。足下では端境期。今後、春夏物受注期を迎えるが、店頭での売上不振によりアパレル等の発注姿勢はさらに慎重となっており、受注期入りの遅延が懸念される。
木工家具	●	●	→	業況は依然低調。業務用では秋口に入り受注が一時活発化したが長続きせず。年末商戦向け受注も動きは鈍い。そうした中、家庭用では各事業者が大型イベントでの製品PRや、アイデア製品を中心とした販売により顧客の取り込みを図る。組合も公的資格試験の実施により事業者を後押し。
清酒	●	●	→	9月の出荷量は、県内向け・県外向けとも大きく落ち込んだ。天候不順の影響や消費者の節約志向などを背景に、居酒屋など飲食店向けが引き続き不振。これまで底堅かったスーパー向けの家飲み需要にも陰りがみられる。酒類別では、吟醸酒、本醸造酒の落ち込みが目立つ。
米菓	◐	◐	→	9月は秋の行楽シーズン入りをしたものの、残暑などの影響から定番品が伸び悩んだ。足下では、消費者の低価格志向が強まっており、総じて弱含みで推移。そうした中、毎年恒例の各社共同イベントを開催し、需要を喚起。一部で需要期を前に生産現場の人手不足を懸念する声も。
建設	◐	◐	→	公共工事は、国や県の今年度予算の前倒し執行を受けて持ち直し基調にある。民間工事は、大型工事が少ないものの、店舗、倉庫、福祉施設などに動きがみられる。住宅建設は、消費税率引き上げ延期の影響は特にみられず、持家、貸家とも底堅い動きを示している。
大型小売店	◐	◐	→	9月は食品が堅調だったものの、気温が高く秋物衣料が不調で売上は前年を下回った。足下は、青果などの価格高騰から食品の動きが鈍い。一方、気温低下に伴い冬物衣料や寝具に動意。そうした中、各社とも、水稻新品種「新之助」試験販売やイベント開催などにより需要喚起。